

楽しい思い出づくりは

交通安全から

夏休みの解放感が事故を呼ぶ

夏休みまったただ中。海に山に子供たちの歓声があふれる季節です。

しかし、夏休みに入ると毎年、子供たちの交通事故が増えていきます。長い休みの解放感から気持ちのゆるみ、ふだん身につけていた交通安全のルールを忘れがちになるからです。

そこでぜひお子さんたちと、交通安全についてもういちど、じっくりと話しいの機会をもちましょう。

子供の行動特性

大人の理解できない動きをする

子供は、大人が考えつかないような行動をとることがあります。子供、とくに幼児の行動特性を挙げてみましょう。

- ひとつのものに関心が向くと周囲のものが目に入らなくなる。
- 手を挙げれば、クルマは止まってくれるものと思ってしまう。
- 「危ないよ」というような抽象的な言葉だけでは、ほんとうの危険がわからない。

- いつも通る道路では交通ルールを守れても、初めて通る道路では守れない。
- 物かげで遊ぶのが好き。
- 音のする方向を正確に判断できない。

こうした特性を心にとめて、自分の子供の個性や心身の発達に応じて、お母さんが具体的に手本を示して指導することが何より大切です。

わが家の交通安全作文募集

パパ、ママ、ボクの交通安全

車を運転するお父さん、バイクに乗るお母さん、自転車でお友達たちと一緒に行くお子さん：家族一人ひとりをみても、交通社会の中のいろいろな「立場」の人がいます。交通事故をなくすためには、それぞれの立場の人が、相手の立場に立って交通安全について話し合うことが大切です。そのような意味では、家庭は交通安全を身近な問題として語れる絶好の場といえます。

総務庁では(社)日本交通福祉協会ほかとの共催によって、「わが家の交通安全の作文」を募集しています。作文の内容は、例えば交通安全について話し合った内容や方法、実践していることなどです。ふるってご応募ください。

▽応募内容

(1) 作文の題材「わが家の交通安全」です。作品には内容にふさわしい題をつけてください。

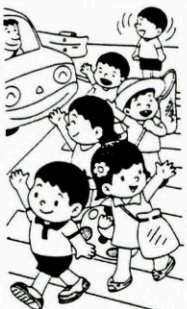
(2) 応募期間 昭和六十一年七月一日から九月二十日(当日消印有効)まで

(3) 応募区分

- ① 小学校低学年(一・二年生)
 - ② 小学校中学年(三・四年生)
 - ③ 小学校高学年(五・六年生)
 - ④ 中学生
 - ⑤ 母親・一般の各部
- (4) 応募方法
- 四百字詰原稿用紙三枚(母親・一般の部は五枚)以内

- 応募するときは応募区分、住所・郵便番号、氏名、学校名、学年、学校所在地・郵便番号(母親・一般の部は年齢・職業)を記載してください。
- 送り先

〒101 東京都千代田区外神田二二一七 共同ビル(社)日本交通福祉協会交通安全作文募集係



おもいやり
みんなのための交通安全
8月11日～20日
夏の交通安全健民運動